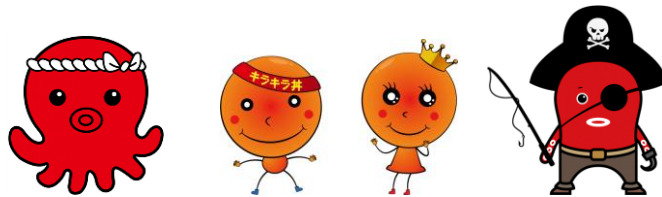


平成 29 年度

南三陸商工会会員アンケート 報告書



平成 30 年 2 月

南三陸商工会

<目 次>

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び回収数	1
3	調査方法	1
4	調査内容	1
5	調査実施期間	2
6	調査機関	2
7	報告書の見方	2
II	プロフィール	3
III	調査結果	5
1	商工会加入の経緯	5
2	商工会に加入した理由	7
3	商工会加入を勧めるために、商工会に必要なもの	9
4	業況、景況について	10
5	経営上の課題	12
6	東日本大震災における施設、設備の被災程度	14
7	復旧の際活用した支援制度	16
8	グループ補助金制度の活用・再活用状況	18
9	商工会への経営相談経験	20
10	相談頻度	22
11	相談内容	24
12	経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望	26
13	経営改革新計画承認制度の取り組み希望	28
(付)	調査票	31

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、南三陸商工会の会員の経営状況や東日本大震災の復興状況、商工会が行う支援事業の利用状況について把握し、今後の会員支援に資することを目的に実施した。

2 調査対象及び回収数

(1)調査対象：南三陸商工会会員事業所

(2)回収状況：回収数 233 サンプル

3 調査方法

記名式の質問用紙、配布・回収

4 調査内容

(1) 事業概要

①所在地

②業種

(2) 商工会加入について

①商工会加入の経緯

②商工会に加入した理由

③商工会に必要と思われる内容

(3) 現在の経営状況について

①業況、景況について

②経営上の課題

(4) 東日本大震災からの復興状況について

①東日本大震災における施設、設備の被災程度

②復旧の際活用した支援制度

③グループ補助金制度の活用・再活用状況

(5) 商工会が行う支援事業について

①商工会への経営相談経験

②相談頻度

③相談内容

(6) 宮城県経営価格新計画承認制度について

①経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望

②経営改革新計画承認制度

5 調査実施期間

平成 29 年 10～12 月

6 調査機関

調査実施：南三陸商工会

集計分析：株式会社 東日本リサーチセンター

7 報告書の見方

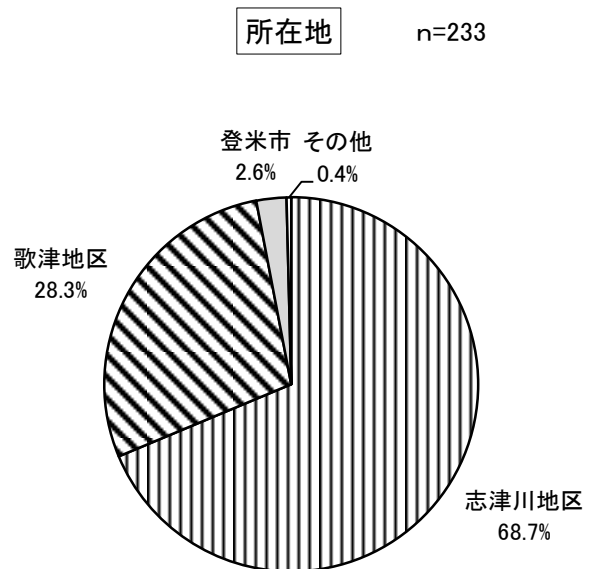
- (1) 報告書中のNとは、その設問項目の回答者数または回答件数である。
- (2) %値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記してある。したがって、必ずしも（単数回答の）合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問（複数回答）では、回答件数の合計は回答者数（100.0%）を超える場合がある。
- (4) Nが小さい場合は、標本誤差が大きくなるので注意を要する。

Ⅱ プロフィール

Ⅱ 回答者のプロフィール

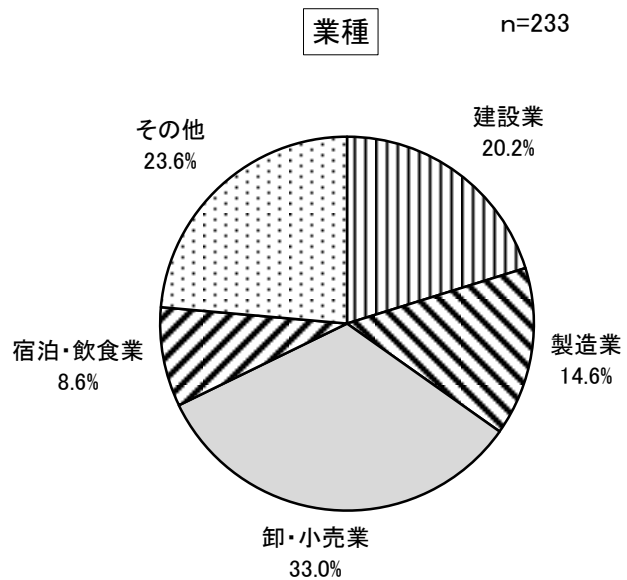
1 所在地

・志津川地区	160事業所
・歌津地区	66事業所
・登米市	6事業所
・その他	1事業所



2 業種

・建設業	47事業所
・製造業	34事業所
・卸・小売業	77事業所
・宿泊・飲食業	20事業所
・その他	55事業所



Ⅲ 調査結果

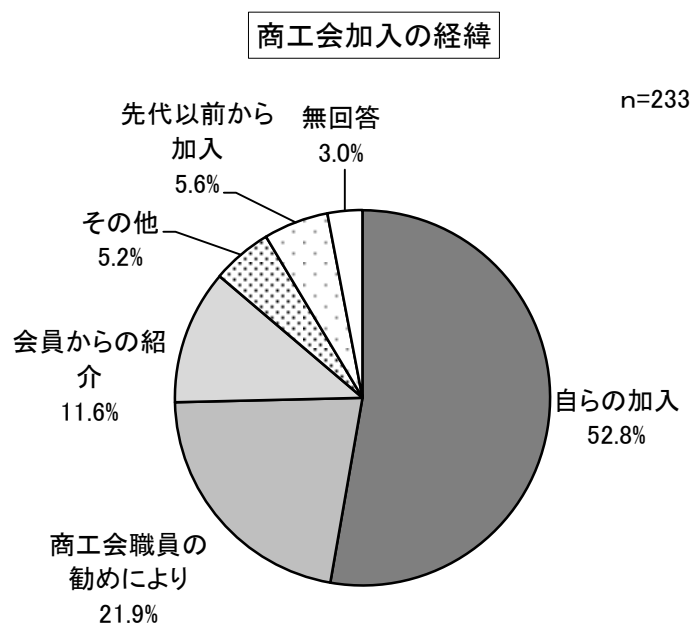
Ⅲ 調査結果

1 商工会加入の経緯 (単数回答)

問1 商工会にはどのようにして加入されましたか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 自らの加入 | 2. 商工会職員の勧めにより |
| 3. 会員からの紹介 | 4. その他 () |

○ 商工会加入の経緯は、「自らの加入」が52.8%で最も多く、半数以上を占めている。次に、「商工会職員の勧めにより」が21.9%、「会員からの紹介」が11.6%が続いている。また、その他の記載の中で、「先代以前から加入」(5.6%)との回答が多かったため新たなカテゴリーとして集計した。



●問1 商工会加入の経緯×(所在地＋業種)

- 所在地別でみると、「自らの加入」は歌津地区で59.1%と他の所在地より多くなっている。
- 業種別でみると、「商工会職員の勧めにより」は宿泊・飲食業で35.0%と他の業種に比べ多く、「会員からの紹介」は建設業（17.0%）、その他（16.4%）で多くなっている。

上段:実数 下段:%		問1 商工会加入の経緯						
		調査数	自らの加入	に商より会職員の勧め	会員からの紹介	その他	先代以前から加入	無回答
所在地	全 体	233 100.0	123 52.8	51 21.9	27 11.6	12 5.2	13 5.6	7 3.0
	志津川地区	160 100.0	83 51.9	37 23.1	20 12.5	9 5.6	8 5.0	3 1.9
	歌津地区	66 100.0	39 59.1	13 19.7	6 9.1	2 3.0	2 3.0	4 6.1
	登米市	6 100.0	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7	3 50.0	- -
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	全 体	233 100.0	123 52.8	51 21.9	27 11.6	12 5.2	13 5.6	7 3.0
業 種	建設業	47 100.0	26 55.3	10 21.3	8 17.0	1 2.1	1 2.1	1 2.1
	製造業	34 100.0	19 55.9	7 20.6	1 2.9	1 2.9	5 14.7	1 2.9
	卸・小売業	77 100.0	38 49.4	16 20.8	8 10.4	7 9.1	5 6.5	3 3.9
	宿泊・飲食業	20 100.0	11 55.0	7 35.0	1 5.0	- -	- -	1 5.0
	その他	55 100.0	29 52.7	11 20.0	9 16.4	3 5.5	2 3.6	1 1.8
	全 体	233 100.0	123 52.8	51 21.9	27 11.6	12 5.2	13 5.6	7 3.0

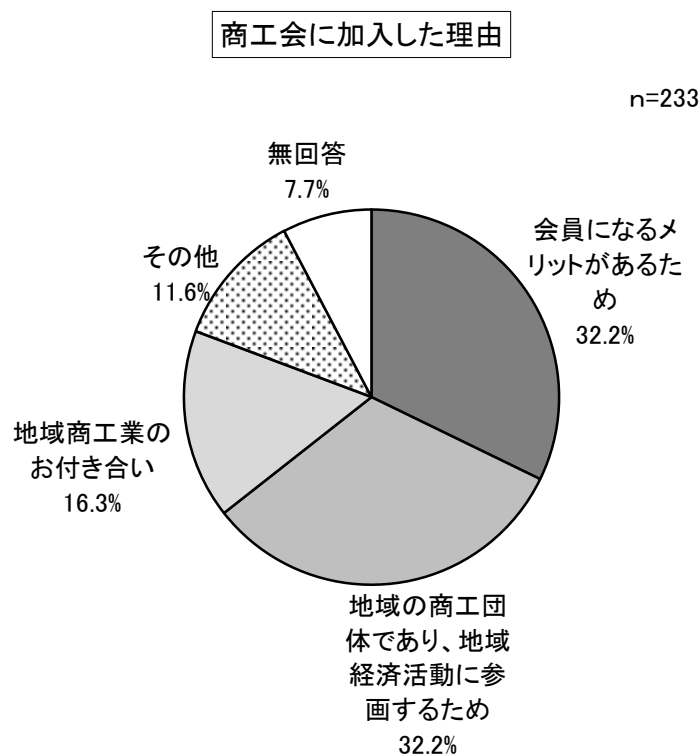
※所在地の“登米市”、“その他”は回答数が少ないため参考値として参照ください
(誤差が大きいためコメントを控える)

2 商工会に加入した理由（単数回答）

問2 商工会に、加入した理由はどれですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 会員になるメリットがあるため | 2. 地域の商工団体であり、地域経済活動に参画するため |
| 3. 地域商工業のお付き合い | 4. その他（ ） |

○ 商工会に加入した理由は、「会員になるメリットがある」、「地域の商工団体であり、地域経済活動に参画するため」がともに 32.2%と最も多い。次に「地域商工業のお付き合い」が 16.3%で続いている。



●問2 商工会に加入した理由×(所在地+業種)

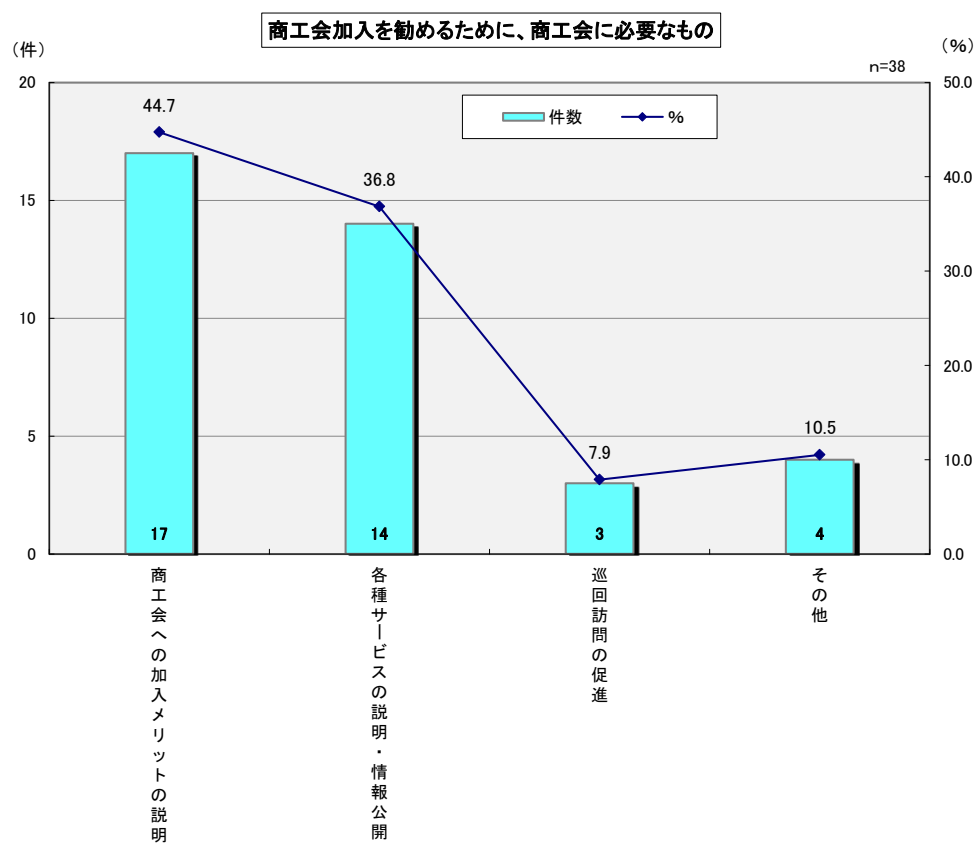
- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、「会員になるメリットがあるため」は建設業で 44.7%と他の業種に比べ多く、「地域の商工団体であり、地域経済活動に参画するため」は宿泊・飲食業で 40.0%と多くなっている。

上段:実数 下段:%		問2 商工会に加入した理由					
		調査数	ト会員があるため	動あ地に参画する経済活動	き地合域い商工業のお付	その他	無回答
所在地	全 体	233 100.0	75 32.2	75 32.2	38 16.3	27 11.6	18 7.7
	志津川地区	160 100.0	50 31.3	52 32.5	27 16.9	18 11.3	13 8.1
	歌津地区	66 100.0	22 33.3	22 33.3	9 13.6	8 12.1	5 7.6
	登米市	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -
	その他	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
業種	全 体	233 100.0	75 32.2	75 32.2	38 16.3	27 11.6	18 7.7
	建設業	47 100.0	21 44.7	11 23.4	6 12.8	5 10.6	4 8.5
	製造業	34 100.0	10 29.4	12 35.3	6 17.6	4 11.8	2 5.9
	卸・小売業	77 100.0	23 29.9	24 31.2	15 19.5	8 10.4	7 9.1
	宿泊・飲食業	20 100.0	4 20.0	8 40.0	3 15.0	2 10.0	3 15.0
	その他	55 100.0	17 30.9	20 36.4	8 14.5	8 14.5	2 3.6

3 商工会加入を勧めるために、商工会に必要なもの（自由回答）

問3 ご自身が未加入事業者に商工会加入を勧めるために、商工会側が必要と思われる内容についてご記入ください。

- 商工会加入を勧めるために、商工会に必要なもの質問（自由回答）したところ、38人から回答があった。回答内容を分類すると、4つに分類できた。回答内容の主な内訳は、以下のとおりである。

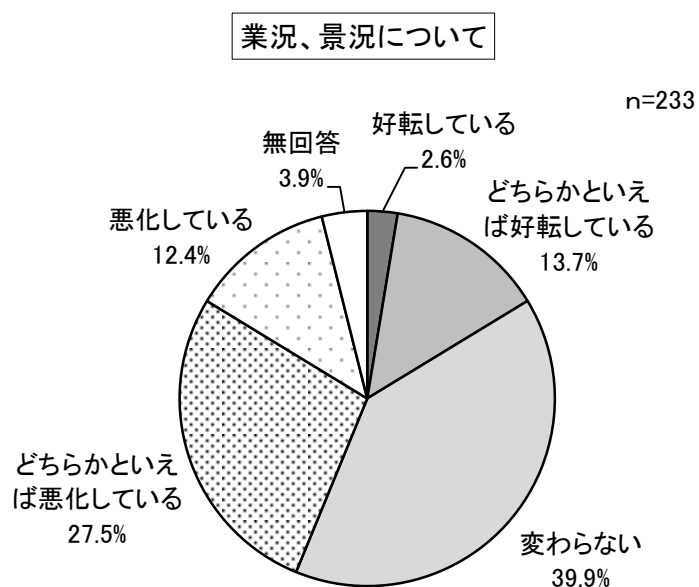


4 業況、景況について（単数回答）

問4 1年前と比べ、現在の事業所における、業況、景況については、いかがですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 1. 好転している | 2. どちらかといえば好転している | 3. 変わらない |
| 4. どちらかといえば悪化している | 5. 悪化している | |

○ 業況、景況は、「好転している」（2.6%）と「どちらかといえば好転している」（13.7%）を合わせた『好転している』が 16.3%と 1 割台にどどまっている。一方、「どちらかといえば悪化している」（27.5%）と「悪化している」（12.4%）を合わせた『悪化している』が 39.9%と ほぼ 4 割を占めている。



『好転している』	『悪化している』
16.3%	39.9%

※「好転している」と「どちらかといえば好転している」を合わせて『好転している』、
「どちらかといえば悪化している」と「悪化している」を合わせて『悪化している』としている。

●問4 業況、景況について×(所在地＋業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、『好転している』が卸・小売業で22.1%と多くなっている。

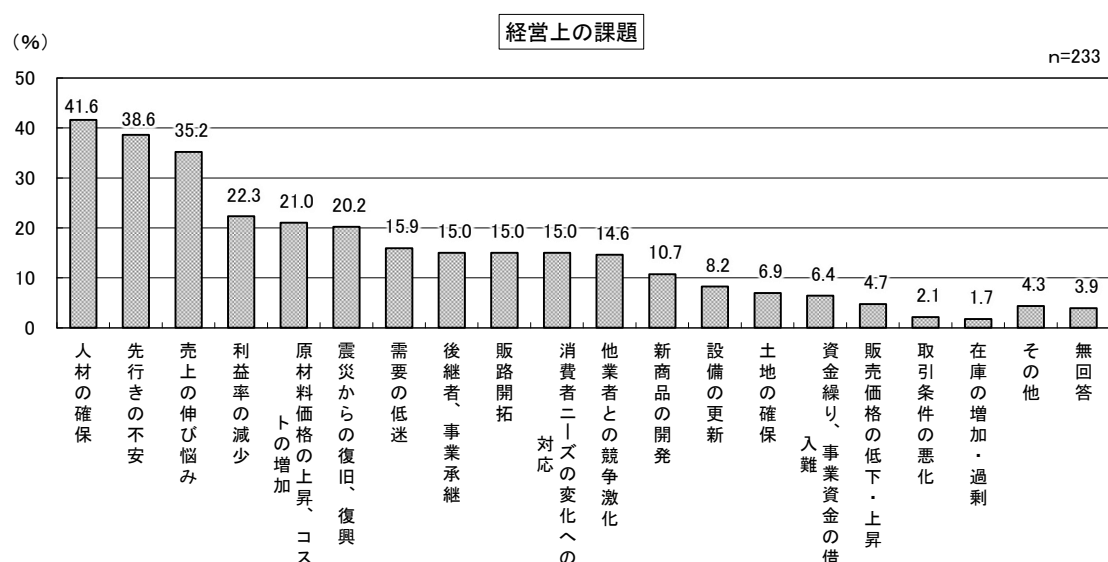
上段:実数 下段:%		問4 業況、景況について								
		調査数	好転している	好どちらていえる え	変わらない	悪どちらていえる え	悪化している	無回答	『好転している』	『悪化している』
所在地	全 体	233 100.0	6 2.6	32 13.7	93 39.9	64 27.5	29 12.4	9 3.9	16.3	39.9
	志津川地区	160 100.0	3 1.9	22 13.8	59 36.9	45 28.1	23 14.4	8 5.0	15.7	42.5
	歌津地区	66 100.0	3 4.5	9 13.6	32 48.5	15 22.7	6 9.1	1 1.5	18.1	31.8
	登米市	6 100.0	- -	1 16.7	1 16.7	4 66.7	- -	- -	16.7	66.7
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	-	-
	全 体	233 100.0	6 2.6	32 13.7	93 39.9	64 27.5	29 12.4	9 3.9	16.3	39.9
業種	建設業	47 100.0	- -	6 12.8	24 51.1	15 31.9	1 2.1	1 2.1	12.8	34.0
	製造業	34 100.0	- -	3 8.8	15 44.1	10 29.4	4 11.8	2 5.9	8.8	41.2
	卸・小売業	77 100.0	3 3.9	14 18.2	19 24.7	24 31.2	14 18.2	3 3.9	22.1	49.4
	宿泊・飲食業	20 100.0	1 5.0	3 15.0	7 35.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	20.0	35.0
	その他	55 100.0	2 3.6	6 10.9	28 50.9	11 20.0	7 12.7	1 1.8	14.5	32.7
	全 体	233 100.0	6 2.6	32 13.7	93 39.9	64 27.5	29 12.4	9 3.9	16.3	39.9

5 経営上の課題（複数回答）

問5 現在の経営上の課題は、どれですか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|---------------|-------------------|---------------------|
| 1. 震災からの復旧、復興 | 2. 売上の伸び悩み | 3. 利益率の減少 |
| 4. 先行きの不安 | 5. 人材の確保 | 6. 土地の確保 |
| 7. 後継者、事業承継 | 8. 資金繰り、事業資金の借入難 | 9. 販路開拓 |
| 10. 新商品の開発 | 11. 消費者ニーズの変化への対応 | 12. 需要の低迷 |
| 13. 在庫の増加・過剰 | 14. 販売価格の低下・上昇 | 15. 原材料価格の上昇、コストの増加 |
| 16. 取引条件の悪化 | 17. 他業者との競争激化 | 18. 設備の更新 |
| 19. その他（ ） | | |

○ 経営上の課題は、第1位が「人材の確保」で41.6%と4割以上の人が挙げている。次に、第2位が「先行きの不安」(38.6%)、第3位が「売り上げの伸び悩み」(35.2%)でともに3割台で続いている。



●問5 経営上の課題×(所在地＋業種)

- 所在地別でみると、「人材の確保」、「先行きの不安」は志津川地区で多く、「売上の伸び悩み」、「震災からの復旧、復興」は歌津地区で多くなっている。
- 業種別でみると、「人材の確保」は製造業で 55.9% と他の業種に比べ多く、「先行きの不安」、「売上の伸び悩み」は宿泊・飲食業で多くなっている。

		問5 経営上の課題																						
		調査数	人材の確保	先行きの不安	売上の伸び悩み	利益率の減少	原・材コストの増加	復興からの復旧、震災からの復旧、	需要の低迷	後継者、事業承継	販路開拓	消費者ニーズの变化	他業者との競争激化	新商品の開発	設備の更新	土地の確保	資金繰り、事業資金の借入難	販売価格の低下・上昇	取引条件の悪化	在庫の増加・過剰	その他	無回答		
所在地	全 体	233 100.0	97 41.6	90 38.6	82 35.2	52 22.3	49 21.0	47 20.2	37 15.9	35 15.0	35 15.0	35 15.0	34 14.6	25 10.7	19 8.2	16 6.9	15 6.4	11 4.7	5 2.1	4 1.7	10 4.3	9 3.9		
	志津川地区	160 100.0	74 46.3	68 42.5	51 31.9	38 23.8	36 22.5	27 16.9	25 15.6	27 16.9	27 16.9	22 13.8	24 15.0	20 12.5	12 7.5	12 7.5	12 7.5	8 5.0	4 2.5	3 1.9	7 4.4	6 3.8		
	歌津地区	66 100.0	22 33.3	20 30.3	28 42.4	12 18.2	11 16.7	17 25.8	10 15.2	8 12.1	8 12.1	13 19.7	10 15.2	5 7.6	6 9.1	4 6.1	3 4.5	2 3.0	1 1.5	1 1.5	3 4.5	3 4.5		
	登米市	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	-	-	
	その他	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業種	全 体	233 100.0	97 41.6	90 38.6	82 35.2	52 22.3	49 21.0	47 20.2	37 15.9	35 15.0	35 15.0	35 15.0	34 14.6	25 10.7	19 8.2	16 6.9	15 6.4	11 4.7	5 2.1	4 1.7	10 4.3	9 3.9	
建設業		47 100.0	22 46.8	26 55.3	14 29.8	11 23.4	9 19.1	8 17.0	6 12.8	7 14.9	4 8.5	2 4.3	7 14.9	-	3 6.4	1 2.1	2 4.3	-	2 4.3	-	-	2 4.3		
製造業		34 100.0	19 55.9	9 26.5	12 35.3	7 20.6	16 47.1	4 11.8	8 23.5	4 11.8	9 26.5	5 14.7	7 20.6	8 23.5	2 5.9	2 5.9	4 11.8	2 5.9	2 2.9	1 2.9	2 5.9	4 11.8		
卸・小売業		77 100.0	22 28.6	26 33.8	30 39.0	23 29.9	11 14.3	15 19.5	14 18.2	11 14.3	13 16.9	16 20.8	7 9.1	11 14.3	4 5.2	5 6.5	3 3.9	4 5.2	-	3 3.9	2 2.6	2 2.6		
宿泊・飲食業		20 100.0	9 45.0	12 60.0	9 45.0	4 20.0	5 25.0	2 10.0	-	5 25.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	2 5.0	1 10.0	-	2 10.0		
その他		55 100.0	25 45.5	17 30.9	17 30.9	7 12.7	8 14.5	18 32.7	9 16.4	8 14.5	7 12.7	10 18.2	10 18.2	3 5.5	7 12.7	7 12.7	4 7.3	3 5.5	1 1.8	-	4 7.3	1 1.8		

6 東日本大震災における施設、設備の被災程度（単数回答）

問6 東日本大震災における施設、設備の被災程度は、どれですか。（○は1つだけ）

1. 特に被災なし →問8へ

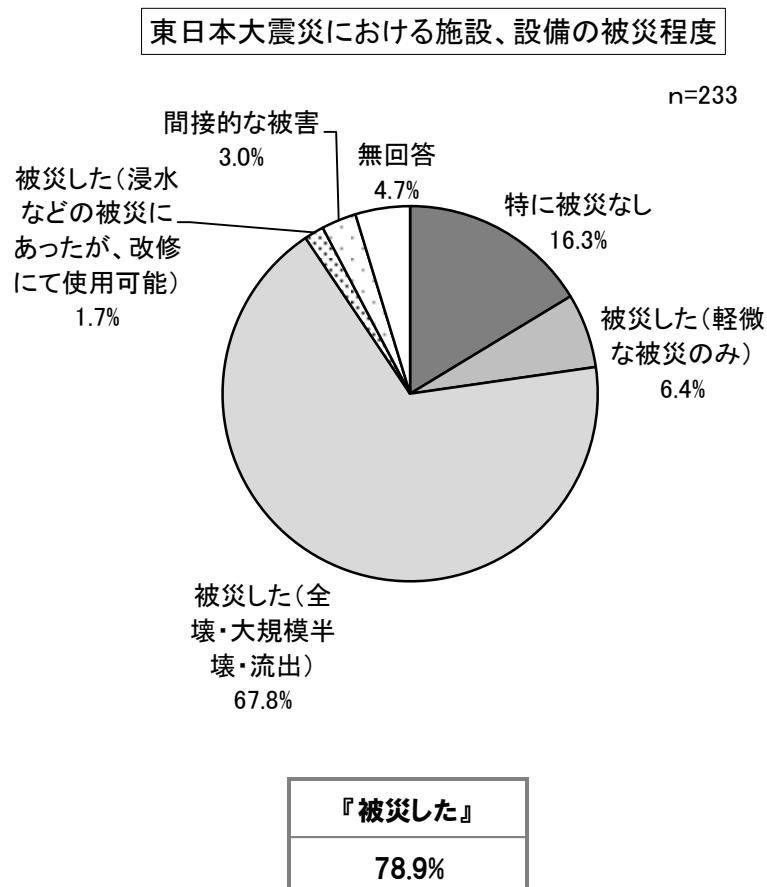
2. 被災した（軽微な被災のみ）

3. 被災した（全壊・大規模半壊・流出）

4. 被災した（浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能） →問7へ

5. 間接的な被害

○ 東日本大震災における施設、設備の被災程度は、「被災した（軽微な被災のみ）」（6.4%）、「被災した（全壊・大規模半壊・流出）」（67.8%）、「被災した（浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能）」（1.7%）、「間接的な被害」（3.0%）を合わせた『被災した』が78.9%と8割近くを占めている。



※「被災した（軽微な被災のみ）」、「被災した（全壊・大規模半壊・流出）」、「被災した（浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能）」、「間接的な被害」を合わせて『被災した』としている。

●問6 東日本大震災における施設、設備の被災程度×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、『被災した』は志津川地区で 80.6%と歌津地区の 72.6%に比べ多くなっている。
- 業種別でみると、『被災した』はその他で 89.1%と他の業種に比べ多い。

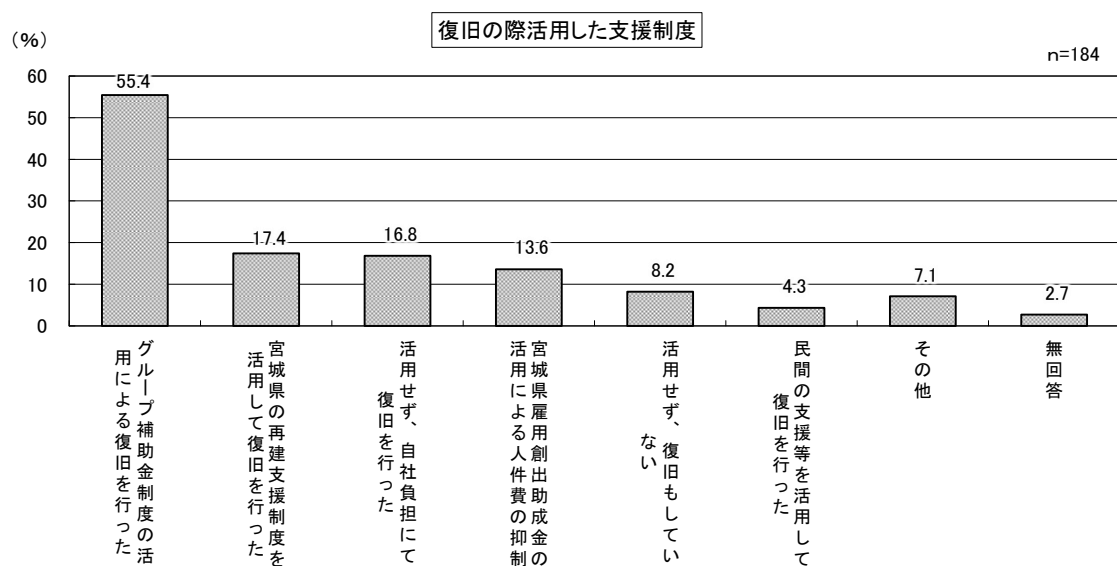
上段:実数 下段:%		問6 東日本大震災における施設、設備の被災程度							
		調査数	特に被災なし	被災のみ(軽微な)	被災した(大規模半壊・全壊・流出)	被災した(大規模半壊・全壊・流出)	被災した(大規模半壊・全壊・流出)	被災した(大規模半壊・全壊・流出)	『被災した』
所在地	全 体	233 100.0	38 16.3	15 6.4	158 67.8	4 1.7	7 3.0	11 4.7	78.9
	志津川地区	160 100.0	24 15.0	11 6.9	112 70.0	1 0.6	5 3.1	7 4.4	80.6
	歌津地区	66 100.0	14 21.2	3 4.5	40 60.6	3 4.5	2 3.0	4 6.1	72.6
	登米市	6 100.0	- -	1 16.7	5 83.3	- -	- -	- -	100.0
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	100.0
業 種	全 体	233 100.0	38 16.3	15 6.4	158 67.8	4 1.7	7 3.0	11 4.7	78.9
	建設業	47 100.0	8 17.0	6 12.8	30 63.8	1 2.1	- -	2 4.3	78.7
	製造業	34 100.0	5 14.7	2 5.9	23 67.6	- -	- -	4 11.8	73.5
	卸・小売業	77 100.0	13 16.9	4 5.2	53 68.8	2 2.6	2 2.6	3 3.9	79.2
	宿泊・飲食業	20 100.0	7 35.0	1 5.0	10 50.0	1 5.0	- -	1 5.0	60.0
	その他	55 100.0	5 9.1	2 3.6	42 76.4	- -	5 9.1	1 1.8	89.1

7 復旧の際活用した支援制度（複数回答）

問7 復旧について活用した支援制度は、どれですか。（○はいくつでも）

1. 活用せず、復旧もしていない
2. 活用せず、自社負担にて復旧を行った
3. グループ補助金制度の活用による復旧を行った
4. 宮城県の再建支援制度を活用して復旧を行った
5. 民間の支援等を活用して復旧を行った（支援団体名 ）
6. 宮城県雇用創出助成金の活用による人件費の抑制
7. その他

○ 問6で『被災した』（「2. 被災した（軽微な被災のみ）」、「3. 被災した（全壊・大規模半壊・流出）」、「4. 被災した（浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能）」、「5. 間接的な被害」）と答えた184事業所に復旧の際活用した支援制度をたずねたところ、「グループ補助金制度の活用による復旧を行った」が55.4%と半数以上の事業所が、この理由を挙げ最も多くなっている。



●問7 復旧の際活用した支援制度×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、「グループ補助金制度の活用による復旧を行った」は志津川地区で 62.0% と他の所在地に比べ多く、「宮城県の再建支援制度を活用して復旧を行った」は歌津地区で 29.2%と多い。
- 業種別でみると、「宮城県の再建支援制度を活用して復旧を行った」が製造業で 44.0%と他の業種に比べ多くなっている。

上段:実数 下段:%		問7 復旧の際活用した支援制度														
		調 査 数	旧 度 を 行 っ た	グ ル ー プ に 補 助 金 復 制	旧 制 を 行 っ た	宮 城 県 の 再 建 支 援	担 に 用 い て 復 旧 を 自 社 で	活 用 せ ず 、 抑 制 に よ る	人 件 費 の 活 用 に よ る	宮 城 県 雇 用 創 出 に よ る	活 用 し て い な い	活 用 し て 復 旧 も	用 し て の 復 旧 等 を 行 っ た	民 間 の 支 援 等 を 行 っ た	そ の 他	無 回 答
所在地	全 体	184 100.0	102 55.4	32 17.4	31 16.8	25 13.6	15 8.2	8 4.3	13 7.1	5 2.7						
	志津川地区	129 100.0	80 62.0	18 14.0	21 16.3	23 17.8	10 7.8	6 4.7	5 3.9	1 0.8						
	歌津地区	48 100.0	20 41.7	14 29.2	8 16.7	2 4.2	3 6.3	2 4.2	8 16.7	3 6.3						
	登米市	6 100.0	2 33.3	- -	1 16.7	- -	2 33.3	- -	- -	1 16.7						
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -						
業 種	全 体	184 100.0	102 55.4	32 17.4	31 16.8	25 13.6	15 8.2	8 4.3	13 7.1	5 2.7						
	建設業	37 100.0	25 67.6	3 8.1	9 24.3	2 5.4	1 2.7	- -	1 2.7	- -						
	製造業	25 100.0	14 56.0	11 44.0	2 8.0	10 40.0	- -	3 12.0	2 8.0	- -						
	卸・小売業	61 100.0	28 45.9	7 11.5	14 23.0	9 14.8	10 16.4	4 6.6	4 6.6	2 3.3						
	宿泊・飲食業	12 100.0	9 75.0	- -	1 8.3	2 16.7	1 8.3	- -	1 8.3	- -						
	その他	49 100.0	26 53.1	11 22.4	5 10.2	2 4.1	3 6.1	1 2.0	5 10.2	3 6.1						

8 グループ補助金制度の活用・再活用状況（単数回答）

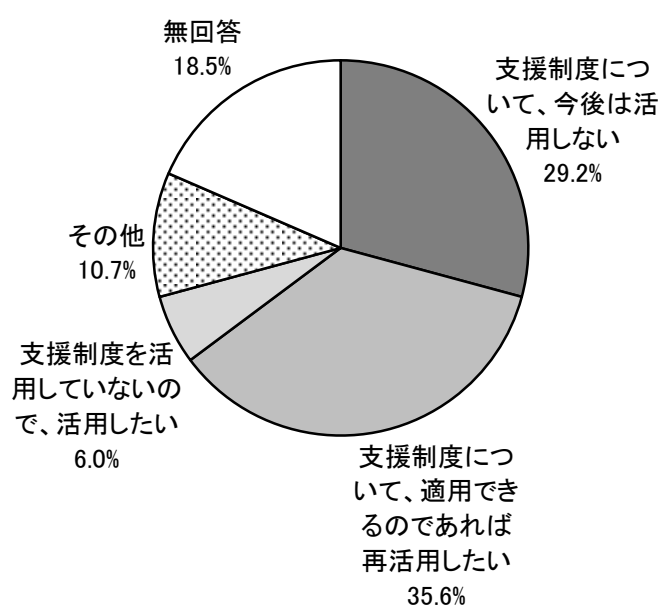
問8 グループ補助金制度の活用及び再活用についてあてはまるものは、どれですか。（○は1つだけ）

1. 支援制度について、今後は活用しない
2. 支援制度について、適用できるのであれば再活用したい
3. 支援制度を活用していないので、活用したい
4. その他（ ）

○ グループ補助金制度の活用・再活用状況は、「支援制度について、適用できるのであれば再活用したい」（35.6%）と「支援制度を活用していないので、活用したい」（6.0%）を合わせた『支援制度を活用したい』が 41.6%と 4 割を占めている。一方、「支援制度について、今後は活用しない」が 29.2%となっている。

グループ補助金制度の活用・再活用状況

n=233



『支援制度を
活用したい』

41.6%

※「支援制度について、適用できるのであれば再活用したい」と「支援制度を活用していないので、活用したい」を合わせて『支援制度を活用したい』としている。

●問8 グループ補助金制度の活用・再活用状況×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、「支援制度について、今後は活用しない」は建設業で 38.3%と他の業種に比べ多くなっている。

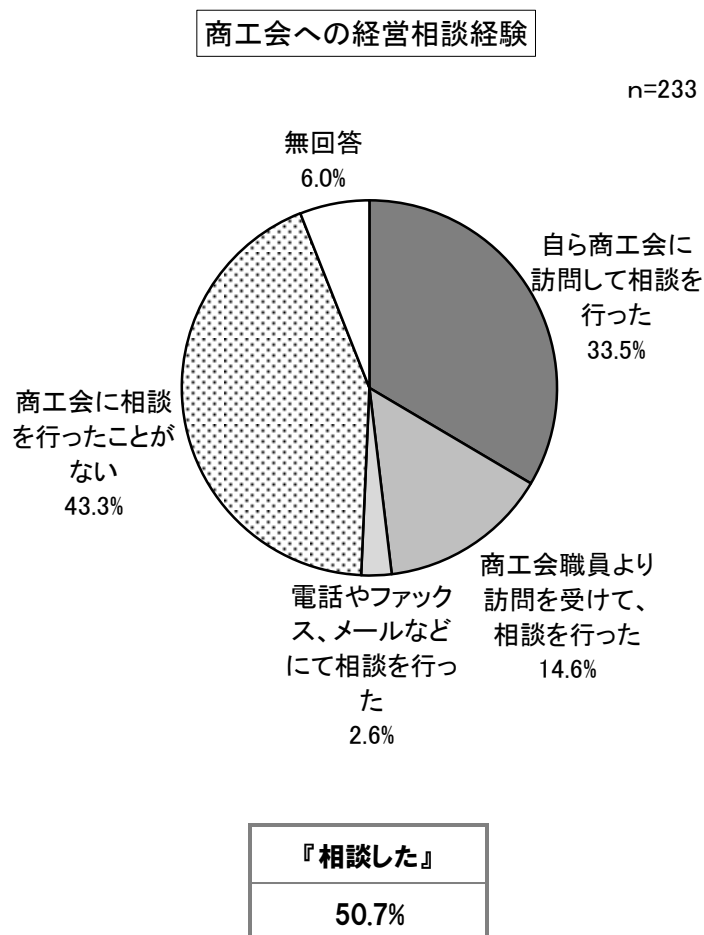
上段:実数 下段:%		問8 グループ補助金制度の活用・再活用状況						
		調査数	ない、援 今後は活用し	ば適支 再活用できる したい	用支 したい の活用し	その他	無回答	し『 たい 支援 制度 を 活用
所在地	全 体	233 100.0	68 29.2	83 35.6	14 6.0	25 10.7	43 18.5	41.6
	志津川地区	160 100.0	48 30.0	58 36.3	10 6.3	17 10.6	27 16.9	42.6
	歌津地区	66 100.0	17 25.8	22 33.3	4 6.1	8 12.1	15 22.7	39.4
	登米市	6 100.0	2 33.3	3 50.0	- -	- -	1 16.7	50.0
	その他	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	-
	全 体	233 100.0	68 29.2	83 35.6	14 6.0	25 10.7	43 18.5	41.6
業種	建設業	47 100.0	18 38.3	15 31.9	- -	6 12.8	8 17.0	31.9
	製造業	34 100.0	9 26.5	14 41.2	1 2.9	2 5.9	8 23.5	44.1
	卸・小売業	77 100.0	21 27.3	23 29.9	9 11.7	9 11.7	15 19.5	41.6
	宿泊・飲食業	20 100.0	5 25.0	8 40.0	1 5.0	4 20.0	2 10.0	45.0
	その他	55 100.0	15 27.3	23 41.8	3 5.5	4 7.3	10 18.2	47.3
	全 体	233 100.0	68 29.2	83 35.6	14 6.0	25 10.7	43 18.5	41.6

9 商工会への経営相談経験（単数回答）

問9 商工会にこれまで経営相談を行ったことはありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---|-------|
| 1. 自ら商工会に訪問して相談を行った
2. 商工会職員より訪問を受けて、相談を行った
3. 電話やファックス、メールなどにて相談を行った | →問10へ |
| 4. 商工会に相談を行ったことがない →問12へ | |

- 商工会への経営相談経験は、「自ら商工会に訪問して相談を行った」（33.5%）、「商工会職員より訪問を受けて、相談を行った」（14.6%）、「電話やファックス、メールなどにて相談を行った」（2.6%）を合わせた『相談した』が50.7%と半数を占めている。一方、「商工会に相談を行ったことがない」は43.3%となっている。



※「自ら商工会に訪問して相談を行った」、「商工会職員より訪問を受けて、相談を行った」、「電話やファックス、メールなどにて相談を行った」を合わせて『相談した』としている。

●問9 商工会への経営相談経験×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、『相談した』は宿泊・飲食業で65.0%と他の業種に比べ多くなっている。

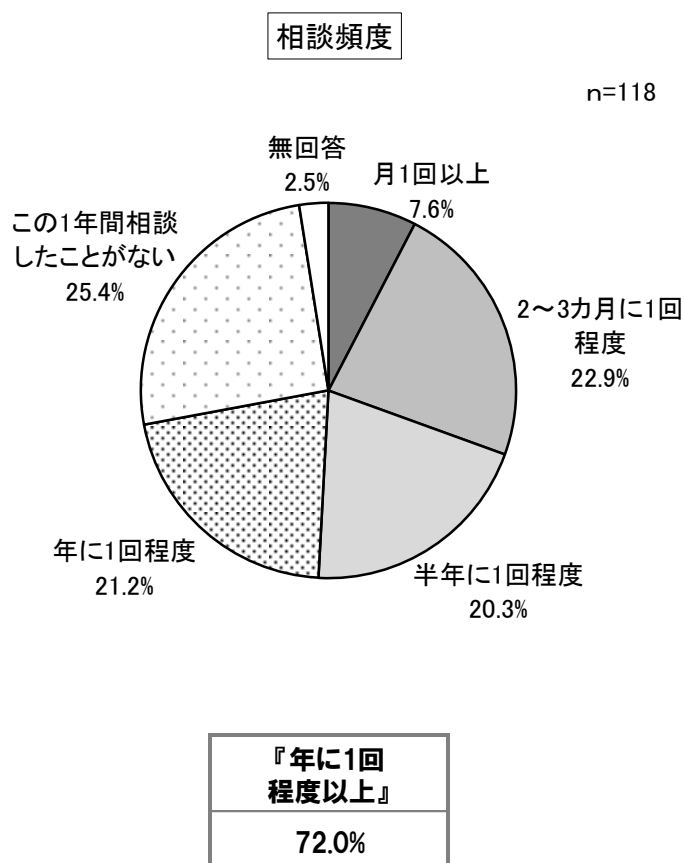
上段:実数 下段:%		問9 商工会への経営相談経験						
		調査数	自ら相談した 訪問した	商工会に 行った 相談	電話 相談 した 回数	行商 つ工 た会 こと 相談 ない	無回答	『相談した』
所在地	全 体	233 100.0	78 33.5	34 14.6	6 2.6	101 43.3	14 6.0	50.7
	志津川地区	160 100.0	53 33.1	24 15.0	5 3.1	69 43.1	9 5.6	51.2
	歌津地区	66 100.0	21 31.8	10 15.2	1 1.5	29 43.9	5 7.6	48.5
	登米市	6 100.0	4 66.7	- -	- -	2 33.3	- -	66.7
	その他	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	-
	全 体	233 100.0	78 33.5	34 14.6	6 2.6	101 43.3	14 6.0	50.7
業種	建設業	47 100.0	16 34.0	6 12.8	1 2.1	21 44.7	3 6.4	48.9
	製造業	34 100.0	12 35.3	2 5.9	1 2.9	16 47.1	3 8.8	44.1
	卸・小売業	77 100.0	28 36.4	12 15.6	1 1.3	31 40.3	5 6.5	53.3
	宿泊・飲食業	20 100.0	10 50.0	3 15.0	- -	6 30.0	1 5.0	65.0
	その他	55 100.0	12 21.8	11 20.0	3 5.5	27 49.1	2 3.6	47.3
	全 体	233 100.0	78 33.5	34 14.6	6 2.6	101 43.3	14 6.0	50.7

10 相談頻度（単数回答）

問 10 この１年間の相談頻度は、どれですか。（○は１つだけ）

- | | | |
|-----------|-------------------|------------|
| 1. 月１回以上 | 2. ２～３カ月に１回程度 | 3. 半年に１回程度 |
| 4. 年に１回程度 | 5. この１年間相談したことがない | |

- 問 9 で「1. 自ら商工会に訪問して相談を行った」、「2. 商工会職員より訪問を受けて、相談を行った」、「3. 電話やファックス、メールなどにて相談を行った」と答えた 118 事業所に、相談頻度をたずねたところ、「月 1 回以上」（7.6%）、「2～3 カ月に 1 回程度」（22.9%）、「半年に 1 回程度」（20.3%）、「年に 1 回程度」（21.2%）を合わせた『年に 1 回程度以上』が 72.0%を占めている。一方、「この 1 年間相談したことがない」は 25.4%となっている。



※「月 1 回以上」、「2～3 カ月に 1 回程度」、「半年に 1 回程度」、「年に 1 回程度」を合わせて『年に 1 回程度以上』としている。

●問 10 相談頻度×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、サンプル数が少ないため参考値として参照ください。

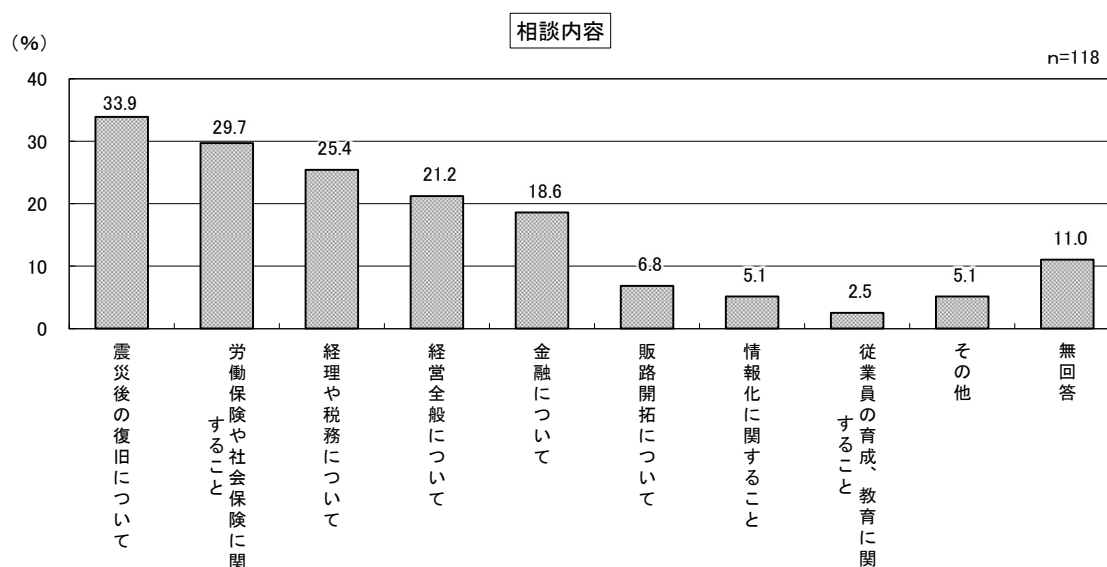
上段:実数 下段:%		問10 相談頻度							
		調査数	月1回以上	程度2〜3カ月に1回	半年に1回程度	年に1回程度	たこの1が年間の相談し	無回答	上「年に1回程度以上」
所在地	全 体	118 100.0	9 7.6	27 22.9	24 20.3	25 21.2	30 25.4	3 2.5	72.0
	志津川地区	82 100.0	8 9.8	19 23.2	15 18.3	17 20.7	23 28.0	-	72.0
	歌津地区	32 100.0	1 3.1	6 18.8	8 25.0	8 25.0	6 18.8	3 9.4	71.9
	登米市	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	75.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
業種	全 体	118 100.0	9 7.6	27 22.9	24 20.3	25 21.2	30 25.4	3 2.5	72.0
	建設業	23 100.0	-	4 17.4	5 21.7	3 13.0	11 47.8	-	52.1
	製造業	15 100.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	2 13.3	5 33.3	1 6.7	59.9
	卸・小売業	41 100.0	1 2.4	11 26.8	8 19.5	12 29.3	9 22.0	-	78.0
	宿泊・飲食業	13 100.0	2 15.4	4 30.8	2 15.4	3 23.1	1 7.7	1 7.7	84.7
	その他	26 100.0	4 15.4	5 19.2	7 26.9	5 19.2	4 15.4	1 3.8	80.7

11 相談内容（複数回答）

問 11 相談内容は、どれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 震災後の復旧について | 2. 経営全般について |
| 3. 金融について | 4. 経理や税務について |
| 5. 販路開拓について | 6. 労働保険や社会保険に関する事 |
| 7. 情報化に関する事 | 8. 従業員の育成、教育に関する事 |
| 9. その他（ ） | |

- 引き続き、問9で「1. 自ら商工会に訪問して相談を行った」、「2. 商工会職員より訪問を受けて、相談を行った」、「3. 電話やファックス、メールなどにて相談を行った」と答えた118事業所に、相談内容をたずねたところ、第1位が「震災後の復旧について」（33.9%）、第2位が「労働保険や社会保険に関する事」（29.7%）となっており、これらは3割前後の事業所に挙げられている。



●問 11 相談内容×(所在地＋業種)

- 所在地別でみると、「経理や税務について」は歌津地区で 34.4%と他の所在地に比べ多くなっている。
- 業種別でみると、サンプル数が少ないため参考値として参照ください。

上段:実数 下段:%		問11 相談内容										
		調査数	い震て災後の復旧につ	険労に働保するや社会保	て経理や税務につい	経営全般につい	金融について	販路開拓について	と情報化に関するこ	育従業員の育成、教	その他	無回答
所在地	全 体	118 100.0	40 33.9	35 29.7	30 25.4	25 21.2	22 18.6	8 6.8	6 5.1	3 2.5	6 5.1	13 11.0
	志津川地区	82 100.0	28 34.1	26 31.7	18 22.0	19 23.2	15 18.3	7 8.5	5 6.1	3 3.7	6 7.3	10 12.2
	歌津地区	32 100.0	9 28.1	9 28.1	11 34.4	5 15.6	6 18.8	1 3.1	1 3.1	- -	- -	3 9.4
	登米市	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
業種	全 体	118 100.0	40 33.9	35 29.7	30 25.4	25 21.2	22 18.6	8 6.8	6 5.1	3 2.5	6 5.1	13 11.0
	建設業	23 100.0	3 13.0	10 43.5	5 21.7	1 4.3	5 21.7	- -	1 4.3	- -	3 13.0	3 13.0
	製造業	15 100.0	7 46.7	3 20.0	4 26.7	4 26.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	3 20.0	2 13.3
	卸・小売業	41 100.0	15 36.6	10 24.4	9 22.0	10 24.4	6 14.6	2 4.9	2 4.9	- -	- -	5 12.2
	宿泊・飲食業	13 100.0	4 30.8	6 46.2	1 7.7	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7	1 7.7	- -	1 7.7
	その他	26 100.0	11 42.3	6 23.1	11 42.3	6 23.1	5 19.2	3 11.5	1 3.8	- -	- -	2 7.7

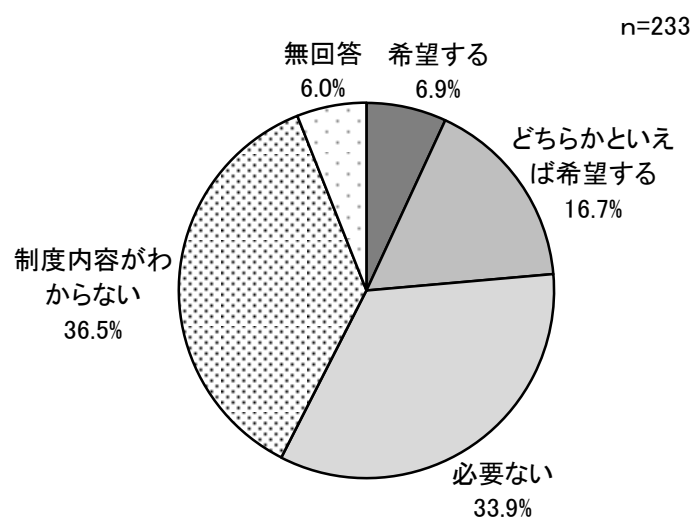
12 経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望（単数回答）

問 12 経営改革新計画承認制度について、詳細な説明を希望されますか。（○は1つだけ）

1. 希望する
2. どちらかといえば希望する
3. 必要ない
4. 制度内容がわからない

- 経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望については、「希望する」（6.9%）と「どちらかといえば希望する」（16.7%）を合わせた『希望する』が23.6%となっている。一方、「必要ない」は33.9%、「制度内容がわからない」は36.5%となっている。

経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望



※「希望する」と「どちらかといえば希望する」を合わせて『希望する』としている。

●問 12 経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、『希望する』は卸・小売業で28.6%と他の業種に比べ多くなっている。

上段:実数 下段:%		問12 経営改革新計画承認制度について詳細な説明希望						
		調査数	希望する	希望どちらかといえば	必要ない	ない程度内容がわから	無回答	『希望する』
所在地	全 体	233 100.0	16 6.9	39 16.7	79 33.9	85 36.5	14 6.0	23.6
	志津川地区	160 100.0	12 7.5	29 18.1	54 33.8	59 36.9	6 3.8	25.6
	歌津地区	66 100.0	3 4.5	10 15.2	21 31.8	25 37.9	7 10.6	19.7
	登米市	6 100.0	1 16.7	- -	3 50.0	1 16.7	1 16.7	16.7
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	-
業種	全 体	233 100.0	16 6.9	39 16.7	79 33.9	85 36.5	14 6.0	23.6
	建設業	47 100.0	1 2.1	7 14.9	14 29.8	24 51.1	1 2.1	17.0
	製造業	34 100.0	3 8.8	5 14.7	13 38.2	11 32.4	2 5.9	23.5
	卸・小売業	77 100.0	7 9.1	15 19.5	27 35.1	23 29.9	5 6.5	28.6
	宿泊・飲食業	20 100.0	2 10.0	3 15.0	5 25.0	9 45.0	1 5.0	25.0
	その他	55 100.0	3 5.5	9 16.4	20 36.4	18 32.7	5 9.1	21.9

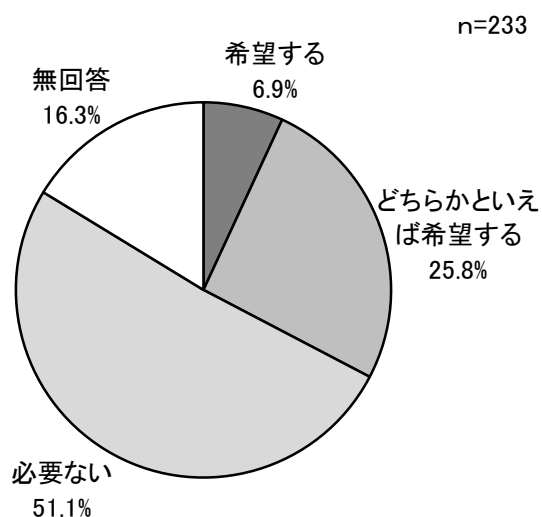
13 経営改革新計画承認制度の取り組み希望（単数回答）

問 13 経営改革新計画承認制度について、取り組みを希望されますか。（○は1つだけ）

1. 希望する
2. どちらかといえば希望する
3. 必要ない

○ 経営改革新計画承認制度の取り組み希望は、「希望する」（6.9%）と「どちらかといえば希望する」（25.8%）を合わせた『希望する』が32.7%となっている。一方、「必要ない」は51.1%と、ほぼ半数を占めている。

経営改革新計画承認制度の取り組み希望



『希望する』

32.7%

※「希望する」と「どちらかといえば希望する」を合わせて『希望する』としている。

●問 13 経営改革新計画承認制度×(所在地+業種)

- 所在地別でみると、大きな差はみられない。
- 業種別でみると、『希望する』は宿泊・飲食業で50.0%と他の業種に比べ多くなっている。

		問13 経営改革新計画承認制度の取り組み希望					
		調査数	希望する	希望どちらかといえば	必要ない	無回答	『希望する』
上段:実数 下段:%							
所在地	全 体	233 100.0	16 6.9	60 25.8	119 51.1	38 16.3	32.7
	志津川地区	160 100.0	12 7.5	44 27.5	80 50.0	24 15.0	35.0
	歌津地区	66 100.0	3 4.5	16 24.2	35 53.0	12 18.2	28.7
	登米市	6 100.0	1 16.7	- -	3 50.0	2 33.3	16.7
	その他	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	-
業種	全 体	233 100.0	16 6.9	60 25.8	119 51.1	38 16.3	32.7
	建設業	47 100.0	1 2.1	12 25.5	31 66.0	3 6.4	27.6
	製造業	34 100.0	3 8.8	8 23.5	19 55.9	4 11.8	32.3
	卸・小売業	77 100.0	6 7.8	20 26.0	36 46.8	15 19.5	33.8
	宿泊・飲食業	20 100.0	2 10.0	8 40.0	6 30.0	4 20.0	50.0
	その他	55 100.0	4 7.3	12 21.8	27 49.1	12 21.8	29.1

(付) 調査票

Ⅱ. 商工会加入について、おたずねします。

問1 商工会にはどのようにして加入されましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 自らの加入 | 2. 商工会職員の勧めにより |
| 3. 会員からの紹介 | 4. その他 () |

問2 商工会に、加入した理由はどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 会員になるメリットがあるため | 2. 地域の商工団体であり、地域経済活動に参画するため |
| 3. 地域商工業のお付き合い | 4. その他 () |

問3 ご自身が未加入事業者で商工会加入を勧めるために、商工会側が必要と思われる内容についてご記入ください。

--

Ⅲ. 現在の経営状況について、おたずねします。

問4 1年前と比べ、現在の事業所における、業況、景況については、いかがですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 1. 好転している | 2. どちらかといえば好転している | 3. 変わらない |
| 4. どちらかといえば悪化している | 5. 悪化している | |

問5 現在の経営上の課題は、どれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------|-------------------|---------------------|
| 1. 震災からの復旧、復興 | 2. 売上の伸び悩み | 3. 利益率の減少 |
| 4. 先行きの不安 | 5. 人材の確保 | 6. 土地の確保 |
| 7. 後継者、事業承継 | 8. 資金繰り、事業資金の借入難 | 9. 販路開拓 |
| 10. 新商品の開発 | 11. 消費者ニーズの変化への対応 | 12. 需要の低迷 |
| 13. 在庫の増加・過剰 | 14. 販売価格の低下・上昇 | 15. 原材料価格の上昇、コストの増加 |
| 16. 取引条件の悪化 | 17. 他業者との競争激化 | 18. 設備の更新 |
| 19. その他 () | | |

Ⅳ. 東日本大震災からの復興状況について、おたずねします。

問6 東日本大震災における施設、設備の被災程度は、どれですか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 特に被災なし →次ページの問8へ |
| 2. 被災した(軽微な被災のみ) |
| 3. 被災した(全壊・大規模半壊・流出) |
| 4. 被災した(浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能) |
| 5. 間接的な被害 |

→次ページの問7へ

一南三陸商工会 会員アンケート一

I. 事業概要について、おたずねします。

※「21 直近 3 期営業状況」について、個人事業については経常利益及び当期純利益については事業の所得金額をご記入ください。

<問6で「2. ～5.」と答えた方へ>

問7 復旧について活用した支援制度は、どれですか。(○はいくつでも)

1. 活用せず、復旧もしていない
2. 活用せず、自社負担にて復旧を行った
3. グループ補助金制度の活用による復旧を行った
4. 宮城県の再建支援制度を活用して復旧を行った
5. 民間の支援等を活用して復旧を行った(支援団体名)
6. 宮城県雇用創出助成金の活用による人件費の抑制
7. その他

<全員の方へ>

問8 グループ補助金制度の活用及び再活用についてあてはまるものは、どれですか。(○は1つだけ)

1. 支援制度について、今後は活用しない
2. 支援制度について、適用できるのであれば再活用したい。
3. 支援制度を活用していないので、活用したい。
4. その他 ()

V. 商工会が行う支援事業について、おたずねします。

問9 商工会にこれまで経営相談を行ったことはありますか。(○は1つだけ)

1. 自ら商工会に訪問して相談を行った。
2. 商工会職員より訪問を受けて、相談を行った。 →問10へ
3. 電話やファックス、メールなどにて相談を行った。
4. 商工会に相談を行ったことがない →問12へ

<問9で「1. ～3.」(相談を行った)と答えた方へ>

問10 この1年間での相談頻度は、どれですか。(○は1つだけ)

1. 月1回以上
2. 2～3カ月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度
5. この1年間相談したことがない

<引き続き、問9で「1. ～3.」(相談を行った)と答えた方へ>

問11 相談内容は、どれですか。(○はいくつでも)

1. 震災後の復旧について
2. 経営全般について
3. 金融について
4. 経理や税務について
5. 販路開拓について
6. 労働保険や社会保険に関すること
7. 情報化に関すること
8. 従業員の育成、教育に関すること
9. その他 ()

VI. 宮城県経営革新計画承認制度について、おたずねします。

宮城県では、中小企業の生産性向上を図るため、経営革新計画承認制度を設けています。同制度は中小企業にとって計画的経営に資するものであるとともに、信用力向上や県制度融資等の公的支援を利用できる等、経営上のメリットがある制度です。

問 12 経営革新計画承認制度について、詳細な説明を希望されますか。(○は1つだけ)

1. 希望する
2. どちらかといえば希望する
3. 必要ない
4. 制度内容がわからない

問 13 経営革新計画承認制度について、取り組みを希望されますか。(○は1つだけ)

1. 希望する
2. どちらかといえば希望する
3. 必要ない

以上、ご協力ありがとうございました。